

大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査結果について（平成29年度）

1．調査の目的

本調査は、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」（1参照）及び「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領（平成26年12月12日大学設置・学校法人審議会学校法人分科会長決定）」（2参照）に基づき、大学等設置に係る寄附行為（変更）認可時の留意事項が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握し、学校法人の健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため実施している。

2．調査の内容・方法

調査は、2の要領に基づき、大学等の設置が認可された学校法人に対して、原則として当該設置する大学等が完成年次に達するまでの間、毎年度、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会（別紙1）が実施している。

調査の内容は、認可以降の意見等の履行状況、施設・設備の年次計画の実施状況、経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）について行っている。

調査の方法は、全ての調査対象学校法人（147法人）に対して書類調査を実施し、そのうち、大学・短大新設等の場合で設置学部等が完成年次を迎えた学校法人を中心に6法人について実地調査を実施し、特例により医学部を増設した1法人について面接調査を実施した。いずれの場合も問題点や課題等があった場合は是正意見又は改善意見として学校法人に通知し、改善を促すものとする。

3．平成29年度調査結果の概要

今回の調査の結果、一部意見が付されたものがあるが、全体的には設置計画が着実に履行されていた。今回の調査結果として各学校法人に付す是正意見及び改善意見は別紙2のとおりであり、調査内容ごとの調査結果の概要は以下のとおりである。

認可以降に付された意見に対する履行状況

各学校法人においては、認可以降に付された管理運営や財務等に関する意見に対して、その改善に取り組んでいることを確認したが、事案によっては改善状況が十分ではないため、同じ内容について、継続して意見を付す事案が見られた。

施設・設備の年次計画の実施状況

概ね計画どおり履行されていたが、一部の学校法人で計画されていた理事体制の整備が行われていない事案や、追加工事等により計画に変更が生じる場合において必要

な手続きを行っていない事案が見られた。

経営の実態

管理運営面において、一部の学校法人で評議員数が私立学校法に定める数を超えていない事案や、監事が出席せずに理事会又は評議員会を開催する事案など、是正が必要な事案が見られた。

財務面においては、定員未充足や収支が継続してマイナスであることについて改善が必要な事案が多く見られた。

なお、本調査において付される意見の定義は以下のとおりである。

- (1) 是正意見：法令違反の状況や管理運営上著しく不適切な状況等があり、学校法人に早急な是正を求める事項に付す意見。
- (2) 改善意見：寄附行為に基づいた運営がなされていない場合や、設置計画に基づいた整備がなされていない場合に付す意見。(認可時の留意事項や改善意見を付した事項について、引き続き改善を求める場合を含む。)

4 . 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置に係る寄附行為(変更) 認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書(以下、「履行状況報告書」という) を、学校法人として積極的に公開することは大変意義がある。

また、設置認可と認証評価との連続性の確保が重要な課題であることから、各学校法人におかれては、認証評価機関から履行状況報告書の提出を求められた際には積極的に提供いただくことを期待したい。

なお、設置認可と認証評価の有機的な連携が図られるよう、各認証評価機関に対し、本調査の結果を参考資料として送付することとしたい。

5 . 平成30年度の実施方針

調査対象については、これまでと同様に、大学等の設置認可後、当該学部等が完成年次に達するまでの期間に該当する学校法人を対象とすることとしたい。調査方法等については、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会における審議等を踏まえ、更なる内容の充実を図ることとしたい。

1

学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

(平成19年文部科学省告示第41号)(抄)

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第4までの規定に基づく認可に係る計画及び留意事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施すること。

2

大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領

(平成26年12月12日学校法人分科会長決定)(抄)

3 調査方法

調査は、書類調査、実地調査等の方法により、毎年度1回実施する。ただし、特別の必要がある場合は必要に応じてその都度実施する。

4 調査内容

- (1) 留意事項等の履行状況
- (2) 施設・設備の年次計画の実施状況
- (3) 役員の就任状況
- (4) 事務組織の整備状況
- (5) 入学者の状況
- (6) 学校法人の資産及び収支の状況(借入金の状況、学生納付金及び寄附金の状況、給与の支給状況等を含む。)
- (7) その他(学校法人の管理運営状況等)

大学設置・学校法人審議会（学校法人分科会）委員名簿

	氏名	現職
	いしだ つねお 石田 恒夫	(学) 石田学園理事長
	うらの みつと 浦野 光人	(株) ニチレイ相談役
	おおくま あきこ 大隈 暁子	公認会計士
○	おぼら よしあき 小原 芳明	(学) 玉川学園理事長・大学長
	かわなみ ひろずみ 川並 弘純	(学) 東京聖徳学園理事長・学園長、聖徳大学短期大学部学長
	こまむら けいご 駒村 圭吾	(学) 慶應義塾 常任理事
	さかい しょうざぶろう 酒井 正三郎	(学) 中央大学理事、総長・大学長
	しまだ よういち 島田 陽一	早稲田大学 副総長・常任理事
	たまたかわ よしひこ 滝川 嘉彦	(学) 滝川学園理事長・学園長
	にしむら えみ 西村 枝美	関西大学法学部教授
	の だ けんじ 野田 賢治	(学) 浪商学園 理事長
◎	ひだか よしひろ 日高 義博	(学) 専修大学 理事長
	ふるさか さちよ 古阪 幸代	WFM Women's Facility Management 代表
	むらた おさむ 村田 治	関西学院大学長

◎：分科会長 ○：分科会長職務代理

平成29年度大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査意見

調査対象 147法人

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
1	愛知淑徳学園	29	学部の学科増設	愛知淑徳大学	健康医療科学部健康栄養学科	特になし 特になし
2	藍野大学	27	大学院新設	藍野大学大学院	看護学研究科(M)	特になし 寄附金について、募集要項等に任意である旨が明記されていないことから、改善すること。 資産総額変更登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
3	青森田中学園	26	学部増設	青森中央学院大学	看護学部	特になし 特になし
4	朝日大学	26 29	学部増設 学部の学科増設	朝日大学 朝日大学	保健医療学部 保健医療学部健康スポーツ科学科	特になし 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
5	足利工業大学	26	学部増設	足利工業大学	看護学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。
6	跡見学園	27	学部増設	跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部	特になし 理事が欠員となっていることから、予定どおり補充すること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科)
7	幾徳学園	27	学部増設	神奈川工科大学	看護学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
8	池坊学園	28	短大の学科設置	池坊短期大学	幼児保育学科	特になし 定員が充足しない理由を分析するとともに、今まで実施した学生確保のための取組について成果を検証し、定員充足に向けて役員、教職員が一体となって取り組むこと。 (池坊短期大学 幼児保育学科) 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 代表権の登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 生徒等の募集を停止中の池坊文化学院については、再開するか否かなどについて速やかに検討を行い、適切な措置を講ずること。
9	稲置学園	28	学部増設	金沢星稜大学	人文学部	監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢星稜大学 人文学部 国際文化学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
10	いわき明星大学	28	大学の設置者変更	いわき明星大学	理工学研究科(M)(D) 人文学研究科(M)(D) 薬学部 教養学部 (科学技術学部) (人文学部) 看護学部	評議員数が理事数の2倍を超えていないことから、速やかに是正すること。
		29	学部増設	いわき明星大学		理事会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・理事会が書面での持ち回りで行われていたことから、集会の形式により行うこと。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (いわき明星大学 教養学部 地域教養学科)
11	岩手医科大学	25	研究科増設	岩手医科大学大学院 岩手看護短期大学 岩手医科大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学科 看護学部	特になし
		28 29	短大の設置者変更 学部増設			今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (岩手医科大学 歯学部 歯学科)
12	江戸川学園	26	学部の学科増設	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部 こどもコミュニケーション学科	特になし
13	大阪青山学園	27	学部の学科増設	大阪青山大学	健康科学部看護学科	特になし
						近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
14	大阪医科薬科大学	26	研究科増設	大阪医科大学大学院	看護学研究科(D)	特になし 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算に係る理事会及び評議員会の開催順序 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
15	大阪経済法律学園	27 28	大学院新設 学部増設	大阪経済法科大学大学院 大阪経済法科大学	経済学研究科(M) 国際学部	特になし
						近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
16	大阪歯科大学	29	学部増設	大阪歯科大学	医療保健学部	特になし 評議員会の委任状について、白紙委任ともとれる記載があることから、その在り方について見直すこと。 独立監査人による監査報告が決算前の計算書類に基づき実施されているため、適切に行うこと。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科、口腔工学科)
17	大阪成蹊学園	26	学部増設	大阪成蹊大学	教育学部	特になし
18	大手前学園	28	学部増設	大手前大学	健康栄養学部	特になし
						今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大手前大学 通信教育部 現代社会学部 現代社会学科)
19	大橋学園	29	短大新設	ユマニテク短期大学	幼児保育学科	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。
						代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (ユマニテク短期大学 幼児保育学科)
20	沖縄科学技術大学院大学学園	24	大学院大学新設	沖縄科学技術大学院大学	科学技術研究科[5年制](D)	監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。
						代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
21	開智学園	29	学部増設	開智国際大学	教育学部	<p>監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>財務書類備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
22	学習院	25 28	学部の学科増設 学部増設	学習院大学 学習院大学	文学部教育学科 国際社会科学部	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
23	加計学園	26 28	学部増設 学部増設	千葉科学大学 岡山理科大学	看護学部 教育学部	<p>特になし</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (倉敷芸術科学大学 芸術学部 デザイン芸術学科、千葉科学大学 薬学部 生命薬科学科、危機管理学部 環境危機管理学科、航空技術危機管理学科)</p>
24	金井学園	27	学部増設	福井工業大学	スポーツ健康科学部	<p>特になし</p> <p>資産総額の変更登記及び財務書類備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
25	金沢医科大学	27	研究科増設	金沢医科大学大学院	看護学研究科(M)	<p>特になし</p> <p>負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p> <p>代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
26	金沢学院大学	27 28	研究科増設 学部の学科増設	金沢学院大学大学院 金沢学院大学	スポーツ健康学研究科(M) スポーツ健康学部健康栄養学科	<p>特になし</p> <p>代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢学院短期大学 現代教養学科)</p>
27	金沢工業大学	28	研究科増設	金沢工業大学大学院	イノベーションマネジメント研究科(M)	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
28	河原学園	27 27	学部増設 研究科増設	人間環境大学 人間環境大学大学院	看護学部 看護学研究科(M) 看護学研究科(D)	<p>特になし</p> <p>特になし</p> <p>特になし</p>
29	関西金光学園	26	学部増設	関西福祉大学	発達教育学部	<p>特になし</p> <p>特になし</p> <p>特になし</p>
30	関東学院	25 29	学部増設 研究科増設	関東学院大学 関東学院大学大学院	看護学部 看護学研究科 (M)	<p>特になし</p> <p>評議員が欠員となっていることから、予定どおり補充すること。</p> <p>理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
31	岐阜済美学院	29	学部増設	中部学院大学	スポーツ健康科学部	<p>特になし</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中部学院大学 通信教育部 人間福祉学部 人間福祉学科)</p>
32	九州文化学園	26	研究科増設	長崎国際大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>特になし</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
33	享栄学園	29	学部増設	鈴鹿大学	こども教育学部	<p>特になし</p> <p>代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (鈴鹿大学 こども教育学部 こども教育学科)</p>
34	共済学院	29	学部の学科増設	日本保健医療大学	保健医療学部理学療法学科	<p>特になし</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
35	京都市英館	26	大学新設	京都看護大学	看護学部	<p>特になし</p> <p>理事及び評議員の構成が特定の学校法人関係者に偏ったままであることから、その構成について見直しを進めること。</p> <p>監事の監査について、私立学校法に定める監事の職務を認識するとともに、監事監査の体制を強化し、さらなる監査の充実にも努めること。</p>
36	京都学園	27	学部増設	京都学園大学	健康医療学部	<p>特になし</p> <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
37	京都産業大学	29	学部増設	京都産業大学	現代社会学部	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
38	京都女子学園	27	研究科増設	京都女子大学大学院	法学研究科(M)	<p>特になし</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
39	京都橘学園	28	研究科増設 学部の学科増設	京都橘大学大学院 京都橘大学	健康科学研究科(M) 健康科学部救急救命学科	<p>特になし</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都橘大学 通信教育課程 健康科学部 心理学科)</p>
40	共立女子学園	25 29	学部増設 研究科増設	共立女子大学 共立女子大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	<p>特になし</p> <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
41	金城学園	27 27	学部増設 大学院新設	金城大学 金城大学大学院	看護学部 リハビリテーション学研究科(M)	<p>特になし</p> <p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>生徒等の募集を停止中の金城幼稚園については、再開するか否かなどについて速やかに検討を行い、適切な措置を講ずること。</p>
42	久留米大学	29	学部増設	久留米大学	人間健康学部	<p>特になし</p> <p>負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p> <p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
43	薫英学園	28	学部の学科増設	大阪人間科学大学	人間科学部理学療法学科	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科、医療福祉学科、子ども保育学科、健康心理学科)
44	健康科学大学	28	学部増設	健康科学大学	看護学部	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (健康科学大学 健康科学部 福祉心理学科)
45	研伸学園	29	大学新設	一宮研伸大学	看護学部	特になし 特になし
46	光華女子学園	27 27	学部増設 研究科増設	京都光華女子大学 京都光華女子大学大学院	こども教育学部 看護学研究科(M)	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 寄附金について、任意であることを明記せずに募集していることから、改善すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都光華女子大学 健康科学部 心理学科)
47	光星学院	28	学部の学科増設	八戸学院大学	人間健康学部看護学科	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (八戸学院短期大学 ライフデザイン学科)
48	弘徳学園	29	大学院新設	姫路大学大学院	看護学研究科(M)	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (姫路大学 教育学部 こども未来学科、豊岡短期大学 通信教育部 こども学科)
49	神戸学院	26	学部増設	神戸学院大学	現代社会学部	特になし 代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
50	国際医療福祉大学	29	学部増設	国際医療福祉大学	医学部	特になし 資産総額変更登記が遅延して行われていたことから、今後は寄附行為の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
51	国際学園	29	研究科増設	星槎大学大学院	教育実践研究科(P)	特になし 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (星槎大学 共生科学部 共生科学科)
52	相模女子大学	25	学部の学科増設	相模女子大学	学芸学部生活デザイン学科	特になし 2号理事が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (相模女子大学 学芸学部 英語文化コミュニケーション学科、メディア情報学科、人間社会学部 社会マネジメント学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
53	札幌国際大学	28	研究科増設	札幌国際大学大学院	スポーツ健康指導研究科(M)	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (札幌国際大学 スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科)
54	佐藤栄学園	29	学部増設	平成国際大学	スポーツ健康学部	特になし 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 寄附金について、任意であることを明記せずに募集していることから、改善すること。 代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
55	四條畷学園	27	学部増設	四條畷学園大学	看護学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
56	静岡精華学園	27	学部増設	静岡福祉大学	子ども学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (静岡福祉大学 社会福祉学部 医療福祉学科、健康福祉学科)
57	四徳学園	27	大学新設	長野保健医療大学	保健科学部	評議員数が理事数の2倍を超えていないことから、速やかに是正すること。 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算に係る理事会及び評議員会の開催順序
58	就実学園	26	学部増設	就実大学	経営学部	特になし 特になし
59	修道学園	29	学部増設	広島修道大学	健康科学部	特になし 特になし
60	修文学院	28	学部増設	修文大学	看護学部	特になし 特になし
61	秀明学園	29	学部増設	秀明大学	看護学部	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (秀明大学 看護学部 看護学科)
62	淳心学園	29	大学新設	北海道千歳リハビリテーション大学	健康科学部	特になし 学校法人の公共性に鑑み、財務情報の一般公開(ホームページへの掲載)について積極的に対応すること。 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
63	順正学園	25 29	学部増設 研究科増設	吉備国際大学 吉備国際大学大学院	地域創成農学部 地域創成農学研究科 (M)	特になし 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科、保健医療福祉学部 社会福祉学科、心理学部 心理学科、子ども発達教育学科、外国語学部 外国語学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科、通信教育部 心理学部 子ども発達教育学科、九州保健福祉大学 社会福祉学部 臨床福祉学科、保健科学部 言語聴覚療法学科、視機能療法学科、臨床工学科、通信教育部 社会福祉学部 臨床福祉学科)
64	順天堂	27	学部増設	順天堂大学	国際教養学部	特になし 特になし
65	松蔭学園	27 29	学部増設 学部の学科増設	松蔭大学 松蔭大学	看護学部 コミュニケーション文化学部子ども学科	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (松蔭大学 経営文化学部 ビジネスマネジメント学科、経営法学科、金融経済学科、コミュニケーション文化学部 異文化コミュニケーション学科、生活心理学科、日本文化コミュニケーション学科、こども学科、観光メディア文化学部 観光文化学科、メディア情報文化学科、看護学部 看護学科)
66	城西大学	28	学部の学科増設	城西国際大学	福祉総合学部理学療法学科	特になし 特になし
67	常翔学園	26 28	学部増設 研究科増設	広島国際大学 摂南大学大学院	医療栄養学部 看護学研究科(M)	特になし 特になし
68	聖徳学園	27	学部増設	岐阜聖徳学園大学	看護学部	特になし 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
69	湘南ふれあい学園	27	大学新設	湘南医療大学	保健医療学部	特になし 特になし
70	常陽学園	28	学部の学科増設	東京医療学院大学	保険医療学部看護学科	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。
71	神野学園	28	大学院新設	岐阜医療科学大学大学院	保険医療学研究科(M)	特になし 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
72	鈴鹿医療科学大学	26	研究科増設	鈴鹿医療科学大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	特になし 特になし
73	聖カタリナ学園	29	学部の学科増設	聖カタリナ大学	人間健康福祉学部看護学科	特になし 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。 代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
74	清光学園	25	大学新設	岡崎女子大学	子ども教育学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (岡崎女子短期大学 現代ビジネス学科)
75	聖泉学園	27	大学院新設	聖泉大学大学院	看護学研究科(M)	特になし 独立監査人による監査報告が決算前の計算書類に基づき実施されているため、適切に行うこと。 資産総額の変更登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (聖泉大学 人間学部 人間心理学科)
76	聖路加国際大学	29	研究科増設	聖路加国際大学大学院	公衆衛生学研究科 (P)	特になし 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。 資産総額の変更登記及び財務書類の備付が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。
77	専修大学	25	学部増設	石巻専修大学	人間学部	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (石巻専修大学 理工学部 機械工学科、情報電子工学科、食環境学科、経営学部 経営学科、人間学部 人間文化学科)
78	梅檀学園	27	研究科増設	東北福祉大学大学院	教育学研究科(M)	特になし
79	創価大学	25 27	学部増設 学部の学科増設	創価大学 創価大学	看護学部 工学部共生創造理工学科	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (創価大学 通信教育部 経済学部、法学部、教育学部)
80	創志学園	28 29	短大の設置者変更 学部増設 短大の学科設置	東京経営短期大学 環太平洋大学 東京経営短期大学	経営総合学科 経営学部 こども教育学科	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科[通信教育課程]、東京経営短期大学 こども教育学科)
81	大乗淑徳学園	28	研究科増設	淑徳大学大学院	看護学研究科(M)	特になし
82	大正大学	28	学部増設	大正大学	地域創生学部	特になし
83	玉手山学園	28	学部増設	関西福祉科学大学	教育学部	特になし
84	中央学院	29	学部増設	中央学院大学	現代教養学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中央学院大学 現在教養学部 現代教養学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
85	中国学園	27	学部増設	中国学園大学	国際教養学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中国学園大学 国際教養学部 国際教養学科、中国短期大学 総合生活学科、情報ビジネス学科)
86	調布学園	27	大学院新設	田園調布学園大学大学院	人間学研究科(M)	特になし 特になし
87	津田塾大学	29	学部増設	津田塾大学	総合政策学部	特になし 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
88	鶴岡学園	27 29 29	研究科増設 研究科増設 研究科増設	北海道文教大学大学院 北海道文教大学大学院 北海道文教大学大学院	健康栄養科学研究科(M) リハビリテーション科学研究科(M) こども発達科学研究科(M)	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北海道文教大学 外国語学部 国際言語学科)
89	帝京科学大学	28	学部の学科増設	帝京科学大学	医療科学部医療福祉学科	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京科学大学 医療科学部 医療福祉学科)
90	帝京平成大学	29	研究科増設	帝京平成大学大学院	看護学研究科(M)	特になし 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京平成大学 通信教育学部 現代ライフ学部 経営マネジメント学科 通信課程)
91	天理大学	27 29	研究科増設 研究科増設	天理大学大学院 天理大学大学院	体育学研究科(M) 宗教文化研究科(M)	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
92	桐蔭学園	27	研究科増設	桐蔭横浜大学大学院	スポーツ科学研究科(M)	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 資産総額の変更登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
93	東京医科大学	25	学部の学科増設	東京医科大学	医学部看護学科	特になし 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 財務書類の備付が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
94	東京歯科大学	29	短大新設	東京歯科大学短期大学	歯科衛生学科	学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。 特になし

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
95	東京純心女子学園	27	学部増設	東京純心女子大学	看護学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
96	東京聖徳学園	26	学部増設	聖徳大学	看護学部	特になし 寄附金について、任意であることを明記せずに募集していることから、改善すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (聖徳大学 心理・福祉学部 心理学科、文学部 文学科、音楽学部 演奏学科 聖徳大学短期大学部 保育科第一部、保育科第二部、総合文化学科)
97	東京農業大学	29	学部増設	東京情報大学	看護学部	学年進行中に当初の設置計画が大幅に変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
98	同志社	27	学部増設	同志社女子大学	看護学部	特になし 特になし
99	桐朋学園	29	大学院新設	桐朋学園大学大学院	音楽研究科 (M) (D)	特になし 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
100	東北医科薬科大学	28	学部増設	東北医科薬科大学	医学部	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東北医科薬科大学 薬学部 生命薬科学科)
101	常葉大学	25	学部増設	常葉大学	法学部 健康科学部 経営学部 健康プロデュース学部 保健医療学部 保育学部 社会環境学部	特になし 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (常葉大学短期大学部 音楽科)
102	獨協学園	28	学部増設	姫路獨協大学	看護学部	特になし 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 寄附金について、任意であることを明記せずに募集していることから、改善すること。 代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (姫路獨協大学 人間社会学群 国際言語文化学類、現代法律学類、産業経営学類 医療保健学部 子ども保健学科、臨床工学科)
103	永原学園	26	学部の学科増設	西九州大学	子ども学部心理カウンセリング学科	特になし 学校法人内の職務の兼務により理事が選任条項上の欠員となっていることから、速やかに対応すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科 西九州大学短期大学部 地域生活支援学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
104	名古屋学院大学	25 27	学部増設 学部の学科増設	名古屋学院大学 名古屋学院大学	法学部 スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科	特になし 資産変更登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (名古屋学院大学 スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科)
105	浪商学園	27	学部増設	大阪体育大学	教育学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
106	奈良学園	26	学部増設	奈良産業大学	人間教育学部 保健医療学部	特になし 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
107	西大和学園	26 28	大学新設 学部増設	大和大学 大和大学	教育学部 保健医療学部 政治経済学部	特になし 監事の監査について、監事監査計画を策定する等、客観的に機能できるような監事監査体制を構築するとともに、内部監査体制を整備し効果的な内部監査を実施する等、さらなる監査の充実に努めること。 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
108	新田塚学園	29	大学新設	福井医療大学	保健医療学部	監事の出席していない評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 資産総額変更登記、財務書類備付け及び代表権登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
109	日通学園	29	学部の学科増設	流通経済大学	スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科	特になし 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
110	二戸学園	29	大学新設	岩手保健医療大学	看護学部	<p>理事長を補佐するための、学校法人の財務、経営について知識又は経験を持つ常勤理事を計画通り直ちに配置すること。</p> <p>重要な設置計画の変更について文部科学省への協議が行われていなかったことから、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>大学を設置する学校法人として理事会の開催数を増やすとともに、必要な事項を議論できるよう適切に理事会を運営すること。</p> <p>運営審議会の役割が明確でないことから、運営審議会の位置付けや理事会との関係、審議事項について明確にすること。</p> <p>事務体制を確立するために、学校法人において計画通り事務職員を配置すること。</p> <p>「学校法人二戸学園岩手保健医療大学利益相反取引防止規程」について、適切に理事会に諮るとともに、当該規程を法人内で共有するための具体的な方法について検討し、実行すること。</p> <p>顧問の職務に関する規程等について、適切に整備すること。</p> <p>理事長が医療法人の副理事長の職を退いたのかについて、文部科学省に書面により報告すること。併せて当該医療法人との現在の関係についても報告すること。</p> <p>法人運営の適切性を担保するため、法人内の監査体制を明確にするともに、監査の充実に向けた計画を策定し、実行すること。</p>
111	日本医療大学	26 27 28	大学新設 学部の学科増設 学部の学科増設	日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学	保健医療学部 保健医療学部リハビリテーション学科	<p>特になし</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>財務書類の備付け及び資産総額の変更登記が遅延して行われていたことから、今後は法令及び寄附行為の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>今後の定員充足のあり方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)</p> <p>役員報酬について、職務に応じた報酬額が明確でないことから、規定を整備するなど適切に対応すること。</p>
112	先端教育機構	29	大学院大学新設	社会情報大学院大学	広報・情報研究科(P)	<p>特になし</p> <p>理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
113	日本体育大学	26 29	学部増設 研究科増設	日本体育大学 日本体育大学大学院	保健医療学部 教育学研究科 (M) (D)	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
114	日本福祉大学	27 29	学部増設 学部増設	日本福祉大学 日本福祉大学	看護学部 スポーツ科学部	<p>特になし</p> <p>寄附金について、募集要項等に任意である旨が明記されていないことから、改善すること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本福祉大学 国際福祉開発学部 国際福祉開発学科)</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
115	ノートルダム女学院	29	学部増設	京都ノートルダム女子大	現代人間学部	<p>特になし</p> <p>理事が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>理事会及び評議員会の委任状について、白紙委任ともとれる記載があることから、その在り方について見直すこと。</p> <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>財務書類の備付が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都ノートルダム女子大学 人間文化学部 人間文化学科、現代人間学部 福祉生活デザイン学科、心理学科、こども教育学科)</p>
116	梅花学園	27 29	学部の学科増設 研究科増設	梅花女子大学 梅花女子大学大学院	看護学部口腔保健学科 看護保健学研究科(M)	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
117	濱名学院	25 27	学部増設 研究科増設	関西国際大学 関西国際大学大学院	保健医療学部 看護学研究科(M)	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
118	比治山学園	26	学部増設	比治山大学	健康栄養学部	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
119	兵庫医科大学	25	研究科増設	兵庫医療大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>特になし</p> <p>負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
120	福岡学園	29	大学新設	福岡看護大学	看護学部	<p>特になし</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (福岡医療短期大学 保健福祉学科)</p>
121	福島学院	27	学部の学科増設	福島学院大学	福祉学部こども学科	<p>特になし</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (福島学院大学短期大学部 食物栄養科)</p>
122	藤田学院	27	大学新設	鳥取看護大学	看護学部	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
123	古沢学園	26	学部増設	広島都市学園大学	人間科学部	<p>特になし</p> <p>学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(広島都市学園大学 子ども教育学部 子ども教育学科)</p>
124	朴沢学園	29	学部の学科増設	仙台大学	体育学部子ども運動教育学科	<p>特になし</p> <p>流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(仙台大学 体育学部 子ども運動教育学科)</p>
125	法政大学	28	研究科増設	法政大学大学院	スポーツ健康学研究科(M)	<p>特になし</p> <p>特になし</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
126	奉徳学園	27	研究科増設	埼玉学園大学大学院	子ども教育学研究科(M)	特になし 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (埼玉学園大学 人間学部 心理学科、経済経営学部 経済経営学科)
127	北杜学園	27	短大の学科設置	仙台青葉学院短期大学	栄養学科	特になし 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。
128	北陸大学	29	学部増設	北陸大学	医療保健学部	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (北陸大学 薬学部 薬学科)
129	北海道科学大学	26	学部の学科増設	北海道科学大学	保健医療学部 看護学科 理学療法学科 診療放射線学科	特になし
130	堀井学園	28	大学院新設	横浜創英大学大学院	看護学研究科(M)	特になし 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
131	松商学園	29	学部増設	松本大学	教育学部	特になし
132	松山大学	26	研究科増設	松山大学大学院	医療薬学研究科[4年制](D)	特になし
133	宮城学院	28	学部増設	宮城学院女子大学	現代ビジネス学部	特になし 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 寄附金について、募集要項等に任意である旨が明記されていないことから、改善すること。
134	宮崎学園	26	学部増設	宮崎国際大学	教育学部	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宮崎国際大学 国際教養学部 比較文化学科)
135	武庫川学院	27 27	学部増設 研究科増設	武庫川女子大学 武庫川女子大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	特になし
136	武蔵野大学	25	通信教育課程の開設	武蔵野大学	教育学部児童教育学科 (通信教育課程)	特になし 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (武蔵野大学 通信教育部 人間科学部 人間学学科 教育学部 児童教育学科)
137	村崎学園	28	研究科増設	徳島文理大学大学院	総合政策学研究科(M)	監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (徳島文理大学 人間生活学部 人間生活学科、メディアデザイン学科 保健福祉学部人間福祉学科、口腔保健学科 音楽学部 音楽学科 薬学部 薬学科 文学部 日本文学科、英語英米文学科、文化財学科 理工学部 機械創造工学科、ナノ物質工学科 徳島文理短期大学部 生活科学科、保育科、言語コミュニケーション学科、音楽科、商科)
138	明治学院	27	研究科増設	明治学院大学大学院	法と経営学研究科(M)	特になし
139	明浄学院	25	学部増設	大阪観光大学	国際交流学部	特になし 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
140	安田学園	25 26	研究科増設 学部増設	安田女子大学大学院 安田女子大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学部	特になし
						特になし
141	山梨学院	27 28	学部増設 学部増設	山梨学院大学 山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 スポーツ科学部	特になし
						近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科)
142	行吉学園	27	学部増設	神戸女子大学	看護学部	特になし
143	吉田学園	25 29	大学新設 学部の学科増設	札幌保健医療大学 札幌保健医療大学	看護学部 看護学部栄養学科	特になし
						財務書類備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
144	立命館	26 29	研究科増設 研究科増設	立命館大学大学院 立命館大学大学院	薬学研究科[4年制](D) 教職研究科(P)	特になし
						特になし
145	龍谷大学	27	学部増設	龍谷大学	農学部	特になし
146	渡辺学園	26	学部増設	東京家政大学	看護学部 子ども学部	特になし
						特になし
147	和洋学園	26	学部の学科増設	和洋女子大学	人文学群こども発達学類	特になし
						近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。